

## ドクターが語る体の健康、命の尊さ ～健康や食に関する指導～

本校では、「知」「徳」「体」のバランスの取れた教育を進める中で、「健康や食に関する指導」について、全児童を対象に青野 準（ひとし）医師（岡山中央病院及び西川・大井和診療所勤務）を招いてのミニ講演会を実施しました。

ミニ講演会は、3月5日（金）13：30から音楽室で行い、体の健康や命の尊さ、大切さについてのお話、聴診器を使った心音体験など、子どもたちにとって興味・関心や将来への夢につながる内容となりました。（ミニ講演会は、12月に実施する予定でしたが、インフルエンザの流行や医師の都合で延期になっていました。）



子どもたちは、普段診察される姿で現れた青野先生にびっくりしました。

日々、医師として活躍されている青野先生のお話は、子どもたちにも伝わり、真剣に聞くことができました。

「手首のところをさわってごらん。命を感じるができるよ。」

「あっ、うごいてる！」



病気の治療には、医師、看護師、検査技師など多くの診療スタッフのチームワークで進められることを聞きました。また、人の命の尊さや大切さを感じることができました。

「お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん……命はつながっているんだよ。楽しいこと、苦しいこと、いろいろあるけれど、生きているからこそ、感じるができるんだよ。」



子どもたちは、ミニ講演会の後半に、青野先生の指導で聴診器を使って心音を聴く体験ができました。

「シー 静かに！！」

「ドク、ドク、聞こえる！」

「肺が広がったり、縮んだりする音も聞こえるよ。」

将来、この中から医師をめざす子どもがでてくるかもしれません。